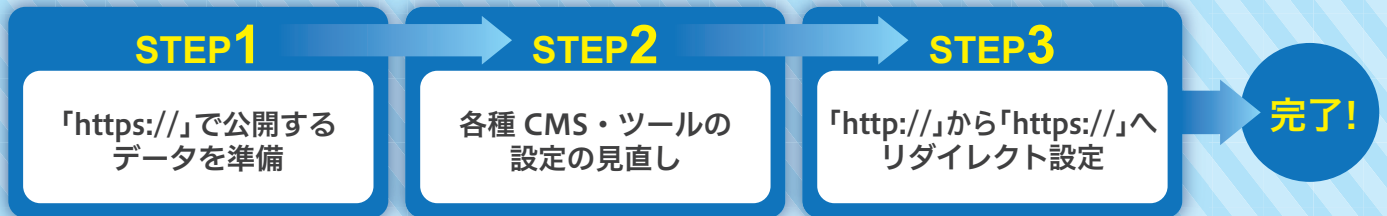


移行手順

作業を行なう前に、念のためリモート側のデータやデータベースのバックアップをとっておくことをお勧めします



STEP1 「https://」で公開するデータを準備

常時SSL化するWebサイトでは、各ページで使用されるすべてのリソース(画像やCSS、Javascriptやインラインフレームなど)もすべて「https://」で配信するために、Webサイトを構成するHTMLやCSSなどのソースコードの記述を修正する必要があります。お客様のソースの記述をご確認下さい。

相対パスの場合

現在のファイルの位置を基準にしたパスの記述方法です。参照するファイルの位置関係が変わらなければ、リンクやパスの修正は不要です。

```

1 
2 <a href="../ディレクトリ名/ファイル名"></a>
  
```

絶対パスの場合

WebサイトのURLでページやファイルを指定して、情報の位置を確実に伝える記述方法です。常時SSL化に伴って参照するURLが変わりますので、リンクやパスの修正が必要になります。

修正前

```

1 
2 <a href="http://example.com/ディレクトリ名/ディレクトリ名/ファイル名"></a>
  
```

修正後

```

1 
2 <a href="https://example.com/ディレクトリ名/ディレクトリ名/ファイル名"></a>
  
```



同じWebサイト内のリソースであれば、基本的に「相対パス」に統一しておくこと、ローカル環境やテストサーバーなどでテストする際も、画像やCSSの設置/読み込みなどのミスを発見しやすくなります。修正漏れによりHTTPが混在したまま常時SSL化がうまくいかない、などといったトラブルも少なくなります。

STEP2 各種CMS・ツールの設定の見直し

CMS(Wordpress など)をご利用の場合

Wordpressの管理画面より、WordPressのアドレスを「https://」で始まるよう変更をお願いします。この「WordPress アドレス (URL)」を、http://からhttps://に変更すると、再ログインを求められますので、もう一度ログインします。ただし、URLそのものを間違ってしまうと、管理画面に入れなくなりますのでご注意ください。

一般設定

サイトのタイトル

キャッチフレーズ
このサイトの簡単な説明。

WordPress アドレス (URL)

サイトアドレス (URL)
サイトのホームページを WordPress のインストールディレクトリに指定する場合は、このフィールドにディレクトリ名を入力してください。

メールアドレス
このアドレスは新規ユーザーの通知などサイト管理のために使われます。

http://からhttps://に変更する

Googleが提供するツール(Google Analytics や Google Search Console など)をご利用の場合

Google AnalyticsやGoogleやSearch Consoleなど、Googleが提供するツールをご利用のお客様は、管理画面より、URLを「https://」で始まるよう変更をお願いします。設定変更を忘れると、いままで使っていた機能が使えなくなります。

STEP3 「http://」から「https://」へリダイレクト設定

全てのページを常時SSL化するため、「http://」から「https://」にリダイレクトするよう、「301転送」を設定します。301転送は、「.htaccess」ファイルによる転送を実施します。なお、「.htaccess」ファイルは、サーバーのさまざまな挙動を制御することが可能です。設定を誤るとWebサイトの閲覧ができなくなったり、リダイレクトがループするなどの可能性がありますので、テストサーバー上で十分な検証を実施してから公開してください。

以下の内容を記述した「.htaccess」ファイルを、HTTP(常時SSL化前)のドキュメントルートに設置します。

```
1 Options +FollowSymLinks
2 RewriteEngine on
3 RewriteCond %{HTTPS} off
4 RewriteRule ^(.*)$ https://(ドメイン名)/$1 [R=301,L]
```

1行目/2行目は、すでに「.htaccess」ファイルが存在し、かつ同じ記述があれば繰り返す必要はありません。4行目は、(ドメイン名)の部分に適宜書き換えてください。もし、サブディレクトリにも「.htaccess」ファイルが存在する場合は、それにも上記の記述を念のため追加しておいてください。その場合、4行目は以下のように記述を変更します。

```
4 RewriteRule ^(.*)$ https://(ドメイン名)/(サブディレクトリ名)/$1 [R=301,L]
```



設定が終わったら、「http://」のURLでWebサイト内のさまざまなページにアクセスし、正常にリダイレクトされているか動作確認を行います。